



上中だより

No.2 令和8年7月発行
よこはましりつかみいいだちゅうがっこう
横浜市立上飯田中学校
校長 室伏 健治



ダイバーシティ DIVERSITY 上飯田中～多様性の尊重～

*上中だよりはホームページにも掲載されています。右のQRコードからもご覧になれます



かのうせい・みとめあい・いぶんか・いのち・たくましく

～人権講演会を終えて～

副校長 土屋 成夫

6月25日(木)に外部講師をお招きして、人権講演会が行われました。

今回の人権講演会で私が印象に残ったのは、人の目を気にすると失敗を恐れるようになる、成功するためには失敗はたくさんした方がよい、人にどう思われるかではなく、自分がどうありたいかが大事というお話です。

人の目を気にしない方が人生はうまくいく

① 人との違いを恐れない ② 人との違いを大切にすること ③ 人との違い(才能)を磨く

⇒以上の3つのことであなたの人生が豊かになる。

また、「なりたい自分になるため」には、「あきらめない」こと、とも話されていて、私が以前、ロサンゼルスオリンピック体操金メダリストの具志堅幸司さんの講演会で聞いた、「成功」の反対は「失敗」ではなく「あきらめる」ことであり、多くの「失敗」が成功につながるという話を思い出しました。

そして良いコミュニケーションをとるために、誰かの話を聞く時にはうなずいて話を聞く、相手の良いところを見つけてあげる、とも話されていました。

現代社会は、人工知能AIの急激な発達など変化が激しく、先を見通すことが難しい「予測不能な時代」と言われています。このような社会の中で求められ、本校の生徒に身につけてほしい力は、困難に直面しても簡単にあきらめるのではなく、自分なりの方法で乗り越えていく力(かのうせい・たくましく)、そして他者と支え合いながらしなやかに生きていく力(みとめあい・いぶんか・いのち)です。生徒のみなさんには、今回の講演会で得た学びを一過性のもので終わらせるのではなく、今後の学習や生活に生かしてほしいと思います。

質問タイムでは、生徒から積極的にたくさんの質問が寄せられ、講師の方が真剣に答えている様子が印象的でした。

以下に生徒の感想の一部を紹介いたします。

☆生徒のメッセージカードより☆

- ・「全員から好かれるのはほぼ不可能」「嫌われてもだいじょうぶ」という言葉がとても心に残りました。
- ・「ピンチはチャンス」「好きなことを追求することが大事」などのポジティブな発言にとても励まされました。
- ・自分の好きなものをやるという考えを活用していきたいと思いました。
- ・失敗を沢山してもいいという話が心に残りました。
- ・「相手との違いを大切にすること」という言葉が心に響きました。
- ・ひとの目を見てうなずくだけでも仲良くなれる、ということ意識したい。

NEWS

地域清掃@西公園

7月5日(日)、毎年恒例の西公園の清掃は悪天候のため中止になってしまいましたが、集合時間よりも早くきていた生徒たちが、少しの時間でもと取り組んでくれました。